ハイブリッドクラウド利用のための設計と管理（4119028）

パブリッククラウド利用が当たり前となるなか、全てのシステムがパブリッククラウドに適合するわけではありません。非機能要件の観点からオンプレミスに残した方が最適なシステムもあります。あるいは複数のクラウドを用途に分けて利用するシーンも多くなってきました。このような利用形態をハイブリッドクラウドと呼んでいます。本セミナーではハイブリッドクラウドの総合的設計の勘所について学んでいきます。

開催日時	2019年5月17日(金) 10:00-17:00
カテゴリー	IS導入（構築）・IS保守 専門スキル
講師	澤橋松王 氏 （キンドリルジャパン株式会社　執行役員　最高技術責任者 ） チーフアーキテクトとして数々のクラウドプロジェクトのRFP作成を支援。IBMのクラウドサービス立ち上げを推進。 2021年9月より現職。 日本情報システム・ユーザー協会　非常勤講師 個人事業主（作家） 主な資格： TOGAF9、The Open Group Distinguished IT Architect
参加費	ＪＵＡＳ会員/ITC：33,000円 一般：42,000円（１名様あたり　消費税込み、テキスト込み） 【受講権利枚数1枚】
会場	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会（日本橋堀留町2丁目ビル2階）
対象	オンプレミスとパブリッククラウドの両方の利用を検討されているユーザー企業のご担当者、 複数のパブリッククラウド利用を検討されているユーザー企業のご担当者 中級
開催形式	講義、グループ演習
定員	24名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）
ITCA認定時間	6

主な内容

第１部　ハイブリッドクラウドの事例と特徴

・クラウドの分類
・ハイブリッドクラウドの事例
・ハイブリッドクラウドの構成パターン
・ハイブリッドクラウドの期待効果
・アプリケーションの分類

第２部　ハイブリッドクラウドの管理

・品質管理
　－可用性管理
　－パフォーマンス・キャパシティ管理
・セキュリティ管理
　－認証管理
　－コンプライアンス管理
・コスト管理
・ハイブリッドクラウド運営組織

第３部　ハイブリッドクラウドの設計

・要件の整理
・クラウドの選択
・ネットワークの選択

・ツールの選択
・体制の決定